

V-3 第9回北陸地域政策研究フォーラム報告

武田 公子

【日 時】2019年3月9日(土)

【場 所】富山大学五福キャンパス

【主 催】北陸地域政策研究フォーラム、富山大学

【共 催】地域公共政策学会、地域デザイン学会関西・北陸地域部会、
北陸観光交流ネットワーク

【後 援】北陸経済連合会

【概 要】

北陸地域政策研究フォーラムとは、北陸地域の研究者の交流、研究シーズの発掘、共同研究の推進、研究成果の社会への還元を目的とした研究のネットワークであり、2010年に設立されて以降毎年、富山大学・金沢大学・福井県立大学の持ち回りで研究大会を開催している。年々共催団体が増えて報告数・参加者数も拡大してきており、今回は自由論題で6つもの分科会(午前3分科会、午後3分科会)を設けるに至った。下記プログラムに示すように、自由論題とはいえそれぞれにテーマ立てができるほどに研究分野・関心には共通性が多く、各分科会では活発な意見交換が行われた。

今回の共通論題では、北陸新幹線開業後の課題に関して、富山県・石川県における開業効果の評価とその持続可能性、敦賀・大阪延伸を見据えた交通体系の在り方について報告・討論が行われた。

【プログラム】

<自由論題Ⅰ：観光・景観> 司会 小川雅司(大阪産業大学)

◇敷田 麻美(北陸先端科学技術大学院大学)

「知床世界自然遺産地域における観光資源としてのヒグマの認識の変化：
観光ガイドブックにおける記載の経年変化の研究」

◇奥 敬一(富山大学)

「砺波平野屋敷林の外観変化の実態」

◇高橋 愛典・石川 大地(近畿大学)

「『城に依存しない』姫路観光は可能か？ー地域デザイン理論からの解釈ー」

<自由論題Ⅱ：交通> 司会 小熊仁(高崎経済大学)

◇江川誠一(福井県立大学)

「JR福井駅西口屋根付き広場(ハピテラス)のにぎわい交流機能に関する考察
～通行量調査結果をもとに～」

◇川本義海(福井大学)

「大雪時における交通マネジメントについて」

◇西藤真一(島根県立大学)「イングランドの地域交通計画に見る地方分権の課題」

<自由論題Ⅲ：地域経済> 司会 北川太一（富井県立大学）

◇田野穂（大阪市立大学）「平成不況期における創業と事業展開 —東大阪の事例—」

◇龍世祥（富山大学）「循環型分業とその地域的展開について」

◇中村和之（富山大学）

「北陸地域における経済循環の持続可能性—産業連関表を用いた試算—」

<自由論題Ⅳ：まちづくり> 司会 那須野育大（富山高等専門学校）

◇有田行男（富山大学）「ミニマムツーリズムとしてのデザイン」

◇坂村圭（北陸先端科学技術大学院大学）

「北陸の農業女子コミュニティの実態と広域的な地域活動連携の可能性」

◇于燕楠・鈴木晃志郎（富山大学）

「心霊スポットの内容および分布特性からみた富山の建造環境」

<自由論題Ⅴ：地域経営> 司会 松井隆幸（富山大学）

◇北島啓嗣（富井県立大学）「地域物産の販路開拓」

◇段野聡子（安田女子大学）

「地域づくりと人材育成—福井県民生活協同組合と株式会社イズミの事例をもとに—」

◇田中志敬（富井大学）「富井市中心市街地再生の取組について」

<自由論題Ⅵ：イノベーション> 司会 武田公子（金沢大学）

◇小林俊哉・永田晃也・諸賀加奈・栗山康孝（九州大学）

「北陸3県における科学技術政策の策定状況」

◇金間大介（金沢大学）「北陸地方のイノベーション力の多面的考察」

◇小柳津英知（富山大学）

「サービス業の生産性向上を巡る議論の地方圏における妥当性の考察

—北陸三県の事例から—」

<共通論題：地域間大型交通網の整備と地域開発の将来像を巡って

——北陸新幹線開通後の課題>

◇基調講演 藤澤和弘氏（北陸経済研究所調査研究部長）「新幹線がもたらす地方創生のソリューション」

◇報告&パネルディスカッション

➤ 中村真由美（富山大学）「宿泊業における北陸新幹線の開業効果について」

➤ 佐無田光（金沢大学）「北陸新幹線後の金沢経済の分岐点:観光化する地域の論点」

➤ 浅沼美忠（富井県立大学）「富井県高速交通体系と移動効果」

◇総括討論

<懇親会> AZAMI（富大敷地内）